

三重県合同輸血療法委員会の活動について

1. 委員会概要

三重県合同輸血療法委員会は、三重県内の医療機関での輸血療法の統一を図ることにより、安全かつ適正な輸血のための技術及び知識向上を図り、血液製剤の使用適正化を推進すること、及び三重県内で輸血に携わる医師、看護師、検査技師、行政や血液センター職員の交流や相互理解を深め、協力体制を構築し、輸血の諸問題を解決することを目的として、平成12年4月1日に発足しました。

令和4年9月からは大石晃嗣新会長の下、新役員を迎え、新しい体制で三重県内医療機関における更なる輸血療法の向上に努めています。

2. 令和3年度の三重県合同輸血療法委員会の活動について

表1中の赤字はSARS-CoV-2の影響により見送りとなった行事です。

昨年に引き続き、SARS-CoV-2の感染リスクを避けるため、Web会議システムによる役員会や総会を実施し、年度末にはWeb会議システムを用いた講演会を開催することができました。次年度以降もWeb会議システムをより積極的に運用し、SARS-CoV-2の感染リスクを避けつつ、委員会活動を堅持していく所存です。

また、令和4年9月からは新たに技師部会を設け、三重県臨床検査技師会と連携した活動を検討中です。

表1. 令和3年度三重県合同輸血療法委員会活動一覧

活動日	活動項目
令和3年7月14日	役員会
令和3年8月25日	総会
令和3年9月28日	看護協会主催「看護実践研修」（講師派遣） （看護協会会館での参集型開催）
令和3年11月～12月	秋季研修会（開催見送り）
令和4年1月15日	看護部会 定例会
令和4年2月4日	冬季講演会（ZOOM ウェビナー）
令和4年1月～2月	三重県版I&A（開催見送り）

3. 看護部会による発表について

三重県看護協会主催の看護実践研修において、当委員会看護部会に講師派遣依頼をいただき、以下のとおり講演を開催しました。

日 時： 令和3年9月28日(火) 15:10~16:00

場 所： 三重県看護協会会館（参集型開催）

参加者： 新任看護師（来館参加70名、オンライン参加90名）

講演名： 「安全な輸血療法」

講 師： 学会認定・臨床輸血看護師 濱口 映美子 先生（当委員会看護部会所属）

4. 冬季講演会の開催について

令和3年度の三重県合同輸血療法委員会冬季講演会は、以下のとおり開催しました。

日本赤十字社近畿ブロック血液センターの木村貴文先生をお招きし、「血小板輸血療法のリフォーム」についてご講演いただいたほか、日本赤十字社血液事業本部の佐竹正博先生からは「輸血安全と適正化：将来への課題」についてご講演いただきました。

日 時： 令和4年2月4日(金) 18:30~20:20

場 所： Web 開催（三重県赤十字血液センター 3階 会議室）

参加者： 63名

講 演： 座長 伊勢赤十字病院 血液内科部長 玉木 茂久 先生

「血小板輸血療法のリフォーム」

日本赤十字社 近畿ブロック血液センター 副所長 木村 貴文 先生

座長 三重大学医学部附属病院 輸血・細胞治療部

部長・病院教授 大石 晃嗣 先生

「輸血安全と適正化：将来への課題」

日本赤十字社 血液事業本部 中央血液研究所所長 佐竹 正博 先生